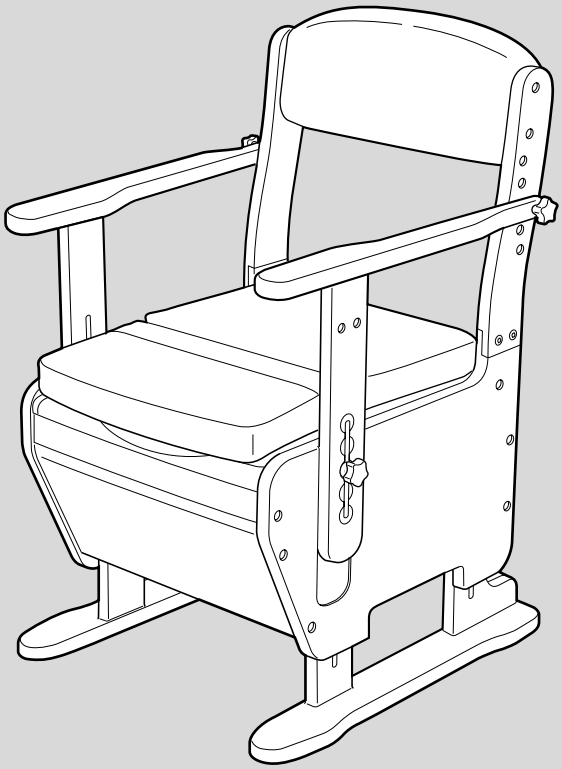
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

家具調トイレ自立3型N（あわせ上手）取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびは家具調トイレ自立3型Nをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1~4
各部のなまえ	5
部材・付属品・仕様	6~7
特長	8
組み立てかた	9~11
使いかた	12~16
お手入れの方法	17
故障かな？と思ったら	18

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
本体が正常にはたらかず、けがの原因になります。

座面を折りたたんだ状態や後ろに倒した状態で座面に過度の力をかけないこと
本体が転倒したり、座面が破損し、けがの原因になります。

⚠ 注意

背もたれを確実に固定すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

ひじ掛けがしっかり固定されているか確認すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

補高脚を確実に固定すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

各部の調節（高さ調節など）については、お買い上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

直射日光を避けて、室内でのみ使用すること
変色やソリ・ひび割れの原因になります。

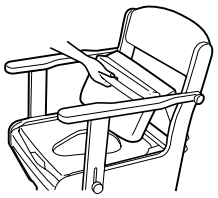
座面を後ろに倒して使用する場合は、座面を持ってゆっくりと倒すこと
座面と本体に指や手をはさみ、けがの原因になります。

移乗の際、ひじ掛けを取り外す場合は、もう一方のひじ掛けは必ず取り付けた状態で使うこと
背もたれが倒れ、けがの原因になります。

必ず平たんな場所で使うこと

ボルトがゆるんでいないか、定期的に点検すること
不安定になり、けがの原因になります。

折れ座面の開閉は、必ず持ち手部を持って行うこと
別の部分を持って行うと指をはさむ原因になります。



座面を後ろに倒して使用する場合は、必ず介助者が付き添い、使用者の身体を支えて使うこと
背もたれと座面（便座）の間に身体が挟まったり、転倒したりけがの原因になります。

使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買上げの販売店かケアマネジャーなど専門家に相談すること

安全上のご注意

⚠ 注意

キャスターで本体を移動させる場合、無理な段差や凹凸面では行わないこと
本体が引っかかり、転倒やけがをしたり、故障の原因になります。

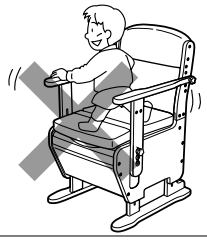
背もたれを手すりがわりに持たないこと
転倒し、けがの原因になります。

直接水をかけて洗わないこと
変形や故障の原因になります。

人や物をのせたまま移動させないこと
故障やけがの原因になります。

子供・幼児を遊ばせる等、他の用途では使用しないこと

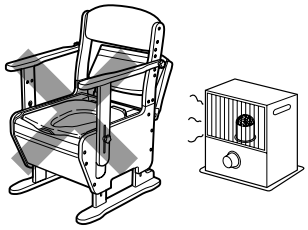
座面やひじ掛けの上に立ったりしないこと
転倒し、けがの原因になります。



落としたり強い衝撃を与えないこと
本体が破損し、けがの原因になります。

体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損する原因になります。

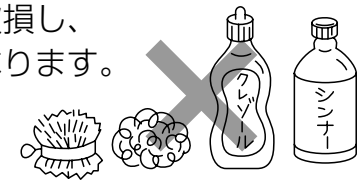
熱器具の近くや湿気の多い場所には設置しないこと
火災や変形の原因になります。



バケツ内に水や汚物を入れたまま、本体を移動させないこと
内容物がこぼれ、本体や服・床などを汚す原因になります。

補高脚を取り外した状態で使用しないこと
本体が不安定になり、転倒したり、けがの原因になります。

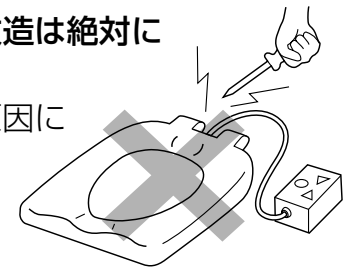
お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと
木部の塗装がはがれたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



快適脱臭・暖房便座（共通）

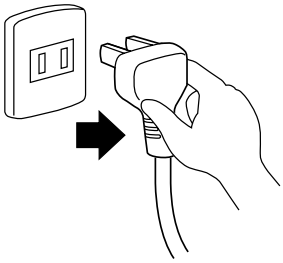
⚠ 警告

分解・修理・改造は絶対にしないこと
感電や発火の原因になります。



焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐACアダプター・電源プラグを抜くこと
感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または、裏表紙のお客様ご相談窓口にご連絡ください。

ACアダプター･電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずACアダプター・電源プラグを持って引き抜くこと
電源コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。



ACアダプター・電源プラグは根元まで確実に差し込むこと
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは、使用しないでください。

安全上のご注意

⚠ 警告

お手入れの際は、必ずACアダプター・電源プラグをコンセントから抜いておくこと
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電やショートして、火災の原因になります。

ACアダプター・電源プラグのほこり等は、定期的に取り除くこと
ACアダプターにほこりがたまると、湿気等で、絶縁不良となり、火災の原因になります。
長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

脱臭器センサー・暖房便座・スイッチボックスに小便や水をかけないこと
感電やショートの原因になります。

表面に結露を生じるような湿気の多い場所（浴室等）では使用しないこと
感電やショートの原因になります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないこと
火災・感電の原因になります。

配線器具の定格を超える使いかたや、交流100Ｖ以外では使用しないこと
他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

ACアダプター・電源プラグ・コードを破損するようなことをしないこと
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないこと
傷んだまま使用すると、感電やショートして、火災の原因になります。

長期間使用しないときは、必ずACアダプター・電源プラグをコンセントから抜いておくこと
絶縁劣化により、火災・感電の原因になります。

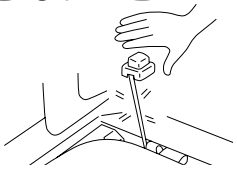
快適脱臭

⚠ 注意

専用ACアダプター以外は使用しないこと
故障の原因になります。

脱臭器の排気口に物や手を入れないこと
回転するファンにまきこまれ、けがの原因になります。また、ファンの故障の原因になります。

脱臭器センサーを引っ張らないこと
故障の原因になります。
持ち運ぶときは、センサーやセンサーコード、ふただけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。



安全上のご注意

暖房便座

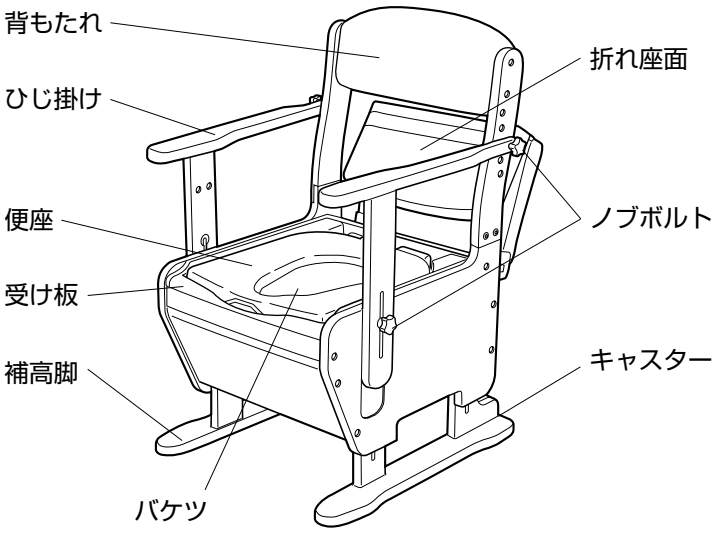
⚠ 注意

お子様・お年寄り・身体の不自由な人・皮ふ感覚の弱い人などが使用するときは、周囲が十分注意すること
低温やけどをおこすことがあります。
下半身マヒなど温度感覚のない方が暖房便座を長時間ご使用になる時は、スイッチボックスの電源スイッチを「切」にしてご使用ください。

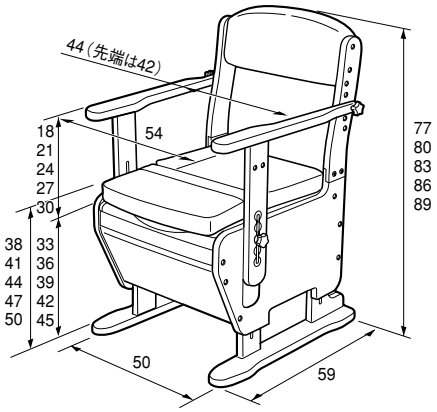
便座を倒すとき、乱暴に扱わないこと
故障の原因になります。

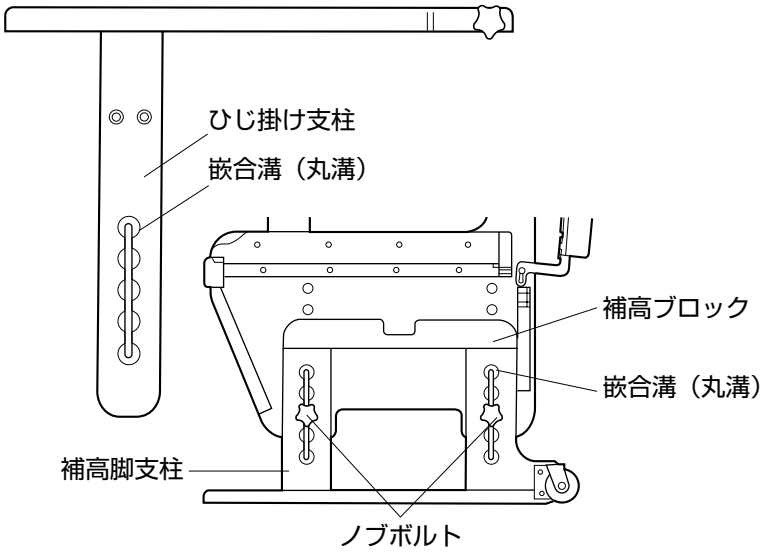
便座カバーはつけずに使用すること

各部のなまえ

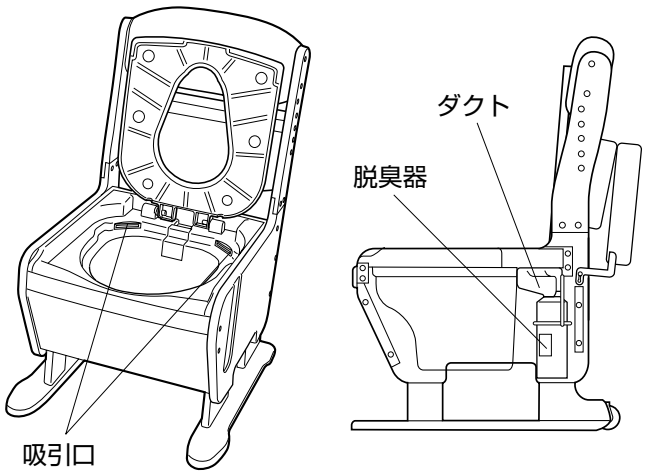


■サイズ（単位はcm）



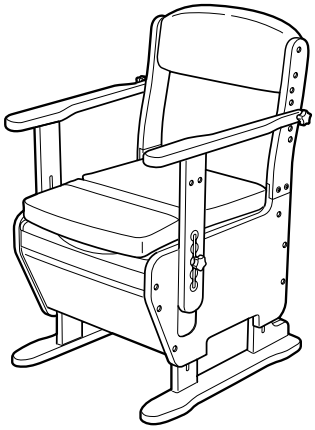


快適脱臭

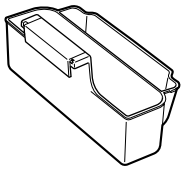


部材・付属品・仕様

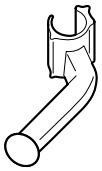
共通



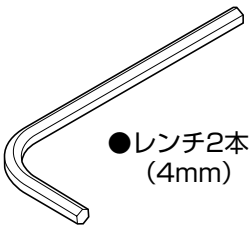
●本体1個



●ポケット1個



●ペーパーホルダー
1個



●レンチ2本
（4mm）

●ペーパーホルダー
軸受け1個

●ペーパーホルダー
軸受け固定用ボルト2本
（M6×15mm）

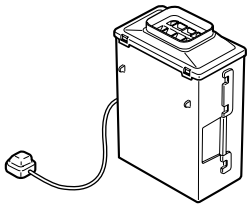
●防臭消耗品
●K型便座カバー2枚（ソフト便座・暖房便座
タイプにはついていません。）

■仕様

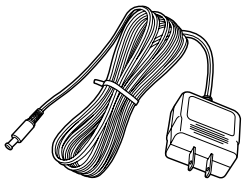
ポータブルトイレ本体			
材質	構造部材		天然木（ラバーウッド）
	表面加工		ウレタン樹脂塗装
	張り材		合成皮革（PVC）
	クッション材		ウレタンフォーム
	受け板・バケツ		ポリプロピレン
	便座	標準／暖房便座	ポリプロピレン
		ソフト便座	ソフト便座：EVA（抗菌加工） 便座ベース板：ポリプロピレン
寸法	幅54×奥行59×高さ77・80・83・86・89㎝ （便座までの高さ33・36・39・42・45㎝）		
重量	約18　㎏（標準仕様） 約18　㎏（ソフト便座仕様） 約19　㎏（暖房便座仕様） 約18.7㎏（脱臭仕様） 約19.7㎏（暖房・脱臭仕様）		
バケツ容量	10ℓ		

部材・付属品・仕様

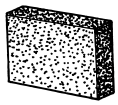
快適脱臭



●脱臭器1個



●ACアダプター1個

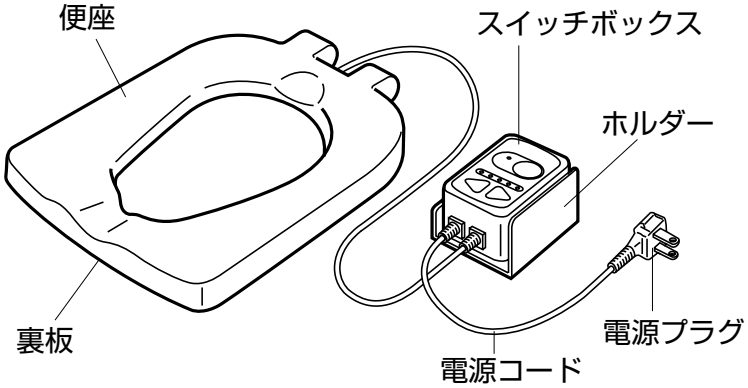


●プレフィルター1個

■仕様

脱臭器		
材質	本体	ポリプロピレン
	接続ダクト	ポリエチレン
	プレフィルター	ポリウレタン
	吸着材	触媒配合ハニカム活性炭
寸法	幅13.5×奥行8.5×高さ19cm	
重量	約0.7kg	
電源	AC100V（50/60Hz共用） DC12V（ACアダプター使用）	
消費電力	約5W	
脱臭方法	吸着脱臭方式	
吸着材寿命	約7年（1日1時間使用した場合）	
動作	人体を感知し自動的に起動 最終感知から5分後に停止	
コード長	約1.9m	

暖房便座



■仕様

品　名	KX暖房便座
材　質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS
寸　法	435×360×38mm
定　格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30～40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）
安全装置	温度ヒューズ
重　量	約1.2kg

電気代について

●標準消費電力は、室温10℃・便座温度35℃（便座温度調節ランプの中央点灯）で平均約18Wh。
1日24時間通電した場合、1日当たり約10円。
1ヵ月（30日）当り約360円が目安となります。（1kwh=25円39銭で計算）

便座表面温度について

室温5℃のとき、便座温度調節ランプの左端点灯（最低設定、黄色ランプ点灯）で約30℃、右端点灯（最高設定、赤ランプ点灯）で約40℃となります。

特長

●便座の高さ調節、ひじ掛けの高さ調節は、工具を使わずにできるのでとても簡単です。
①便座の高さは、5段階に調節可能（33・36・39・42・45cm）で使われる方の体格や症状に合わせた設定が可能です。
②ひじ掛けの高さは、5段階に調節可能（便座から18・21・24・27・30cm）で症状や使い勝手に合わせて、座位保持・立ち座り・排泄姿勢など、最適の高さを選択できます。

●座面は本体の後ろ側まで片手で倒すことができ、座面を戻す時も片手でできるので使用される方を支えながらの後方介助にとても便利です。
●椅子として使えるソフト素材で軽量な折れ座面を採用しています。
開閉時も静かなので周囲に気がねなく使用でき、握力の弱い方も楽々開閉できます。
●ソフト便座には、着座時の痛みや冷たさを緩和するやわらかい素材を使用（抗菌加工）。
汚れた時は、分解して洗えます。
●便座はゆっくり閉まるオイルダンパーを採用しています。
●便座・受け板を外して掃除できるから、いつも清潔です。
●受け板は汚れや臭いがしみ込みにくいプラスチック製で、しかも底付きになっているので汚水がこぼれても床を汚すことがなく衛生的です。
●背もたれは前後2段階（2cm間隔）の前後調節が可能です。
●十分な足引きスペースがあるので立ち上がりが楽にできます。
●脚後部にはキャスターが付いているので移動が楽にできます。
●ポケットはバケツのふたを収納することができ、小物も入れることができるのでとても便利です。
●ペーパーホルダーは左右どちらにも取り付け可能です。

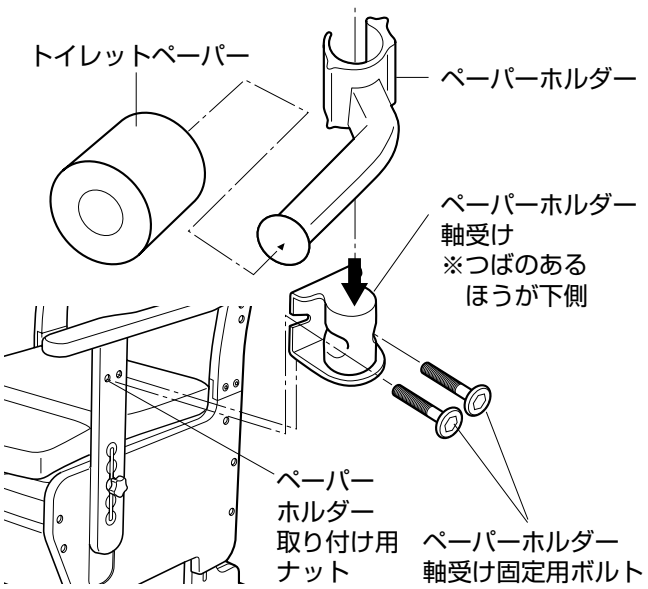
快適脱臭の特長

●吸引構造
便座の下後方2ケ所の吸引口から臭いを強力に吸い取ります。
●自動運転
センサーが、ポータブルトイレに近付く人に反応して自動で運転を開始します。また、人が離れてから５分後に停止するタイマーつきです。
●吸着材
吸着材は、触媒配合ハニカム活性炭で、悪臭を吸着して取り除きます。吸着材の寿命は、１日1時間の使用で約７年間使用することができます。

組み立てかた

1 ペーパーホルダーを取り付ける

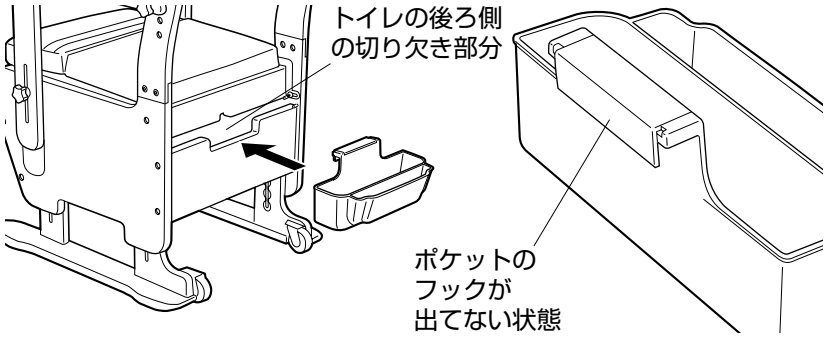
ご使用状況に応じて、取り付け位置を左右のひじ掛けから選択し、ひじ掛け側面のペーパーホルダー取り付け用ナットに軸受けを軸受け固定用ボルトで取り付けます、（上下の向きに注意して取り付けてください。）
軸受けにペーパーホルダーを差し込みます。



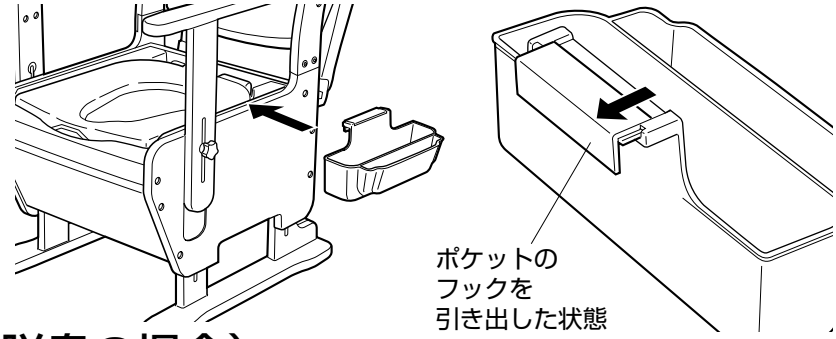
2 ポケットを取り付ける

ポケットはトイレの後ろ側・側面の左右から選んで取り付けることができます。ご使用状況に応じて、取り付け位置を選択してください。

①トイレの後ろ側に取り付ける場合
ポケットのフックが出てない状態で（梱包時は出てない状態になっています。）トイレの後ろ側の切り欠き部分に取り付けてください。



②トイレの側面に取り付ける場合
ポケットのフックを引き出して（梱包時は出てない状態になっています。）いったん受け板をトイレから外し、トイレ側面に取り付けてください。

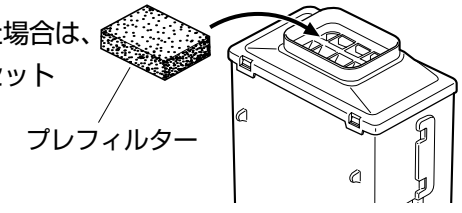


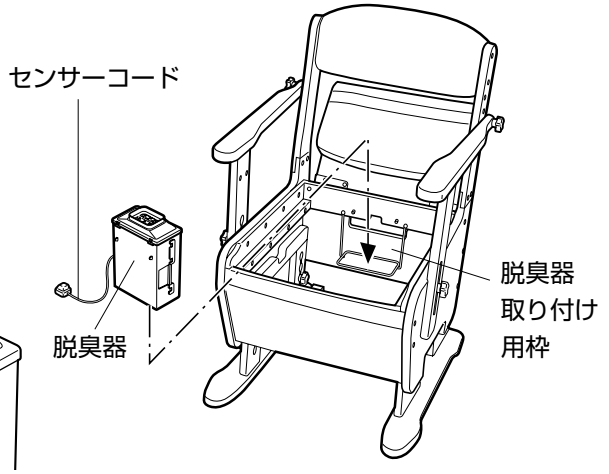
3 脱臭器を取り付ける（快適脱臭の場合）

①折れ座面を開けて、受け板を本体から外してください。

②脱臭器をトイレ本体の内側に取り付けます。脱臭器の吸引口を上方に向け、センサーコードが向かって左側にくるようにトイレ本体内部に取り付けられた金属製の枠に脱臭器を差し込んでください。

※プレフィルターが外れた場合は、脱臭器の吸引口に再度セットしてください。

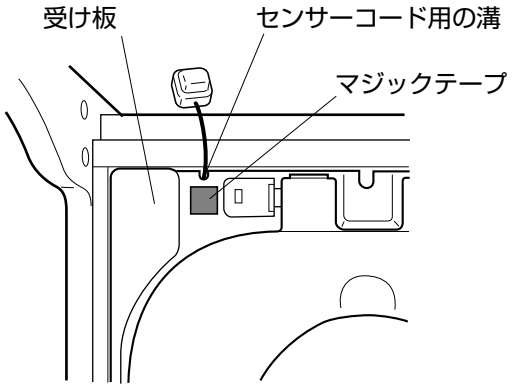




組み立てかた

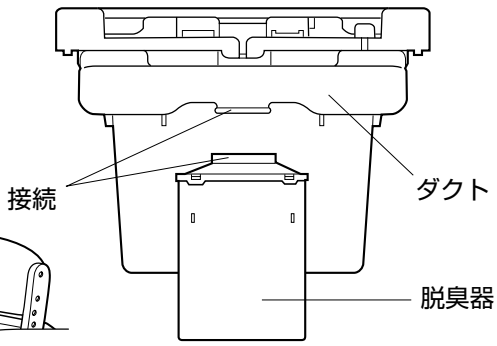
3 脱臭器を取り付ける（つづき）

③センサーを片手で持ちながら、受け板をトイレ本体に取り付けます。その際、センサーコードが受け板のセンサーコード用の溝を通るように注意してください。はじめに、受け板の後方を本体に当ててから取り付けると簡単に取り付けることができます。この時、接続ダクトの中央の穴と、脱臭器の吸引口が接続されているか、確認してください。
本体後ろ側の隙間から中が確認できます。

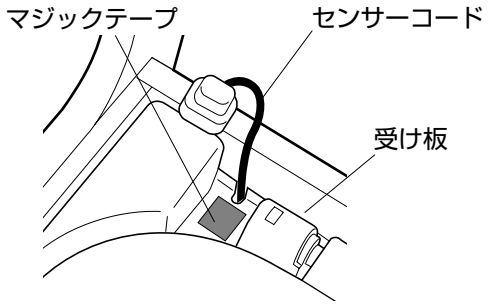


⚠注意

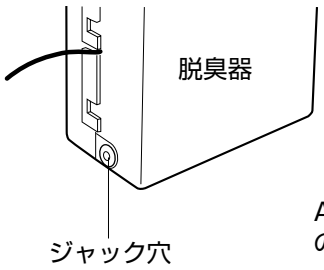
●接続ダクトは、しっかり接続してあることを確認すること
●異物等を挿入したり、はさみ込まないこと
吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

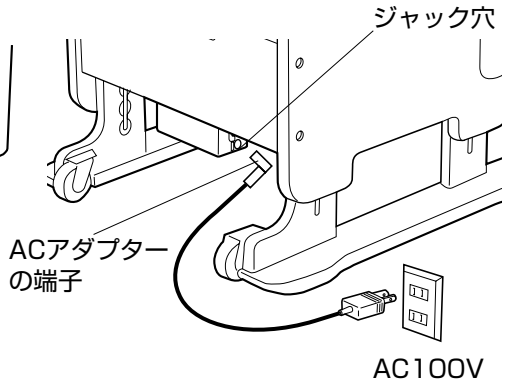


④センサーを受け板のセンサー取り付け位置に取り付けてください。このときセンサーコードがセンサーの後側になるように取り付けてください。
センサーとセンサー取り付け位置にはマジックテープが付いており、簡単に着脱することができます。

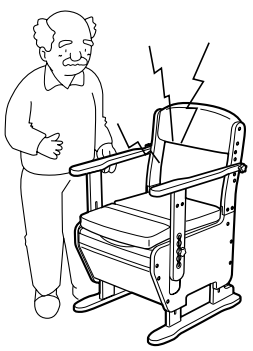


⑤ACアダプターの端子を脱臭器本体の横にあるジャック穴に差し込み、ACアダプター本体を家庭用（100V 50/60Hz）コンセントに差し込んでください。約30秒後、センサーが待機状態となり、人体を感知すると脱臭器が運転を開始します。





⑥センサーは人の動きを感知し続けると運転を継続しますが、人の動きを感知しなくなってから約5分後に運転を停止します。ご使用中でも長時間一定の姿勢で着座されたときは、センサーが使用者の動きを感知しないため停止することがありますが故障ではありません。このようなときは、お体を前後に軽く動かすかセンサーの前に手をかざして、センサーが人体の動きを感知するようにしてください。



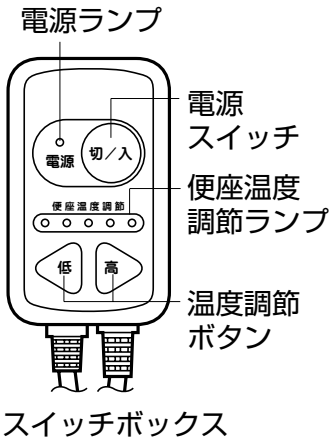
組み立てかた

4 暖房便座のスイッチボックスを固定する（暖房便座の場合）

①スイッチボックスは、ポータブルトイレ本体の左右どちらにでも固定できます。
②ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーの両面テープ側が、トイレ本体の側面に合うようにします。
③ホルダーの離型紙をはがし、本体の側面にしっかりと固定してください。
この際、本体のポケット、ヒジかけ固定ピンなどの作動のじゃまにならないよう注意してください。
④スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

使用方法

①電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り電源ランプと便座温度調節ランプの中央ランプが点灯します。
②(高)(低)ボタンを押すとランプ表示が切換わり、便座表面の温度調節ができます。
③お好みの温度に調節してください。
※最低約30℃、最高約40℃（室温5℃のとき）の範囲で5段階に調節できます。



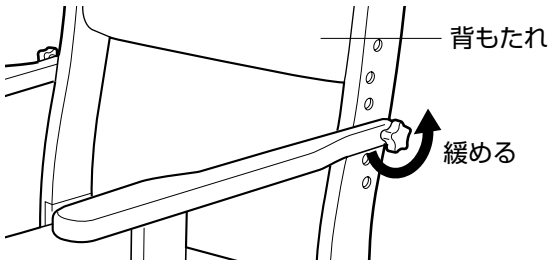
注意

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと

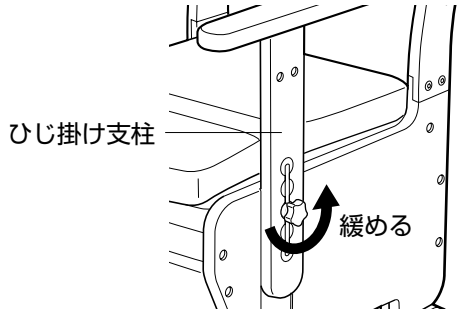
使いかた

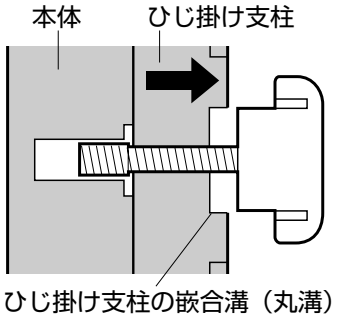
1 ひじ掛けの高さを調節する

①背もたれ側のノブボルトを緩めて抜いてください。
※抜け止め機構によりノブボルトはひじ掛け支柱から抜け落ちません。

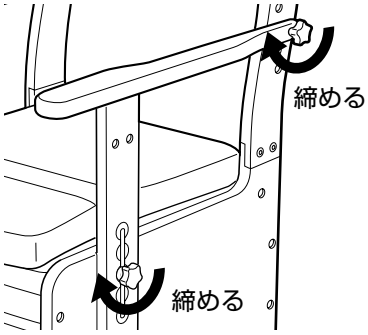


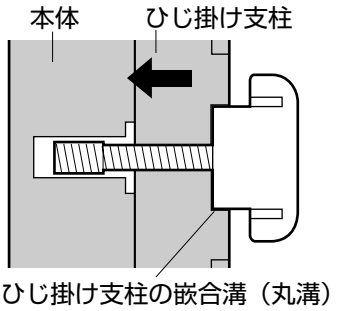
②ひじ掛け支柱のノブボルトを緩めて、ひじ掛け支柱の嵌合溝（丸溝）からノブボルトを外してください。





③ひじ掛け高さを合わせてノブボルトを締めてください。
ひじ掛け支柱側のノブボルトは、ひじ掛け支柱の嵌合溝（丸溝）に挿入させて締め込んでください。



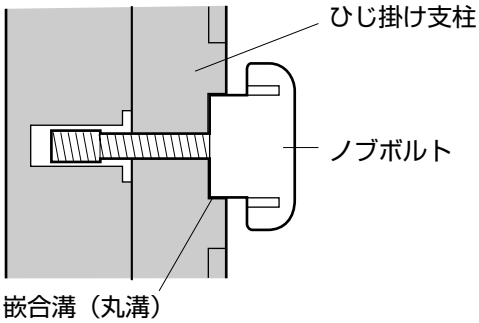


⚠注意

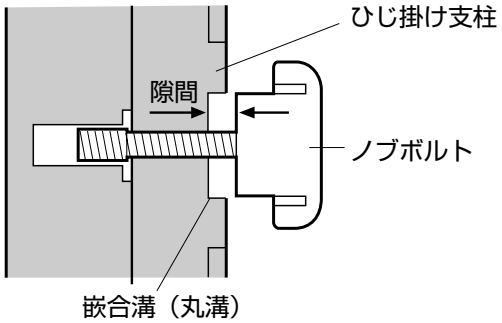
●ひじ掛けの固定は確実に行うこと
ひじ掛けが外れ、けがの原因になります。

●ひじ掛け支柱側のノブボルトを固定するときは　必ず嵌合溝（丸溝）の奥までノブボルトを挿入してしっかり締め付けること
ひじ掛けが下がり、転倒やけがの原因になります。

○ ノブボルトが嵌合溝（丸溝）の奥までしっかり挿入されている



× ノブボルトと嵌合溝（丸溝）に隙間がある

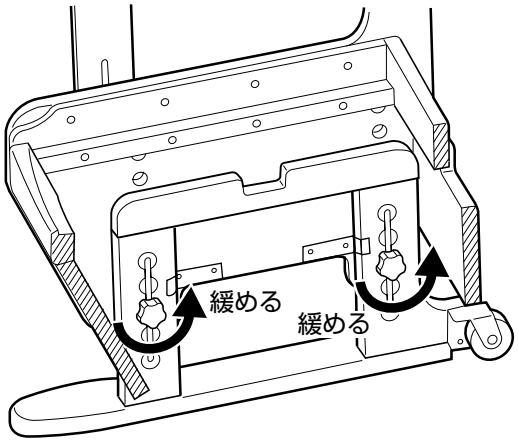


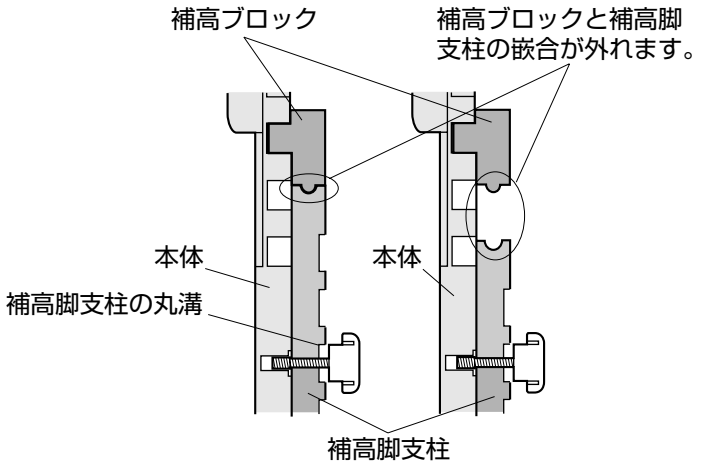
使いかた

2 便座（座面）の高さ調節する ㊟調節は必ず片側ずつ行ってください。

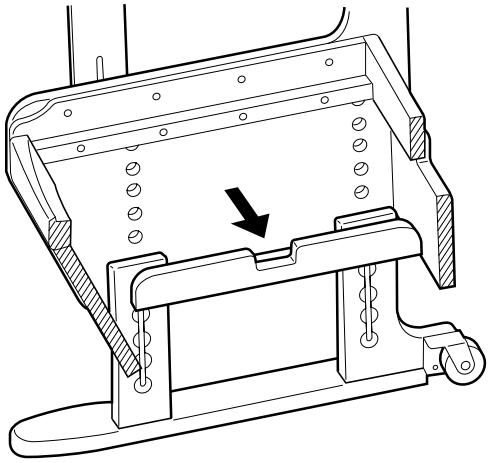
①折れ座面を開けて、受け板を本体から外してください。

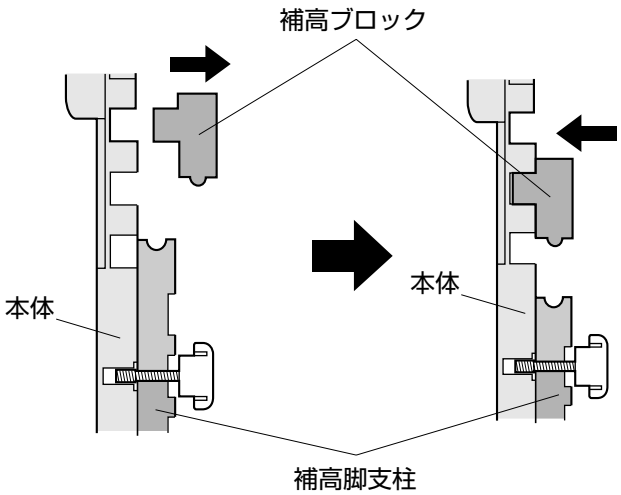
②ノブボルトを緩めて、補高脚支柱の嵌合溝（丸溝）からノブボルトを外してください。



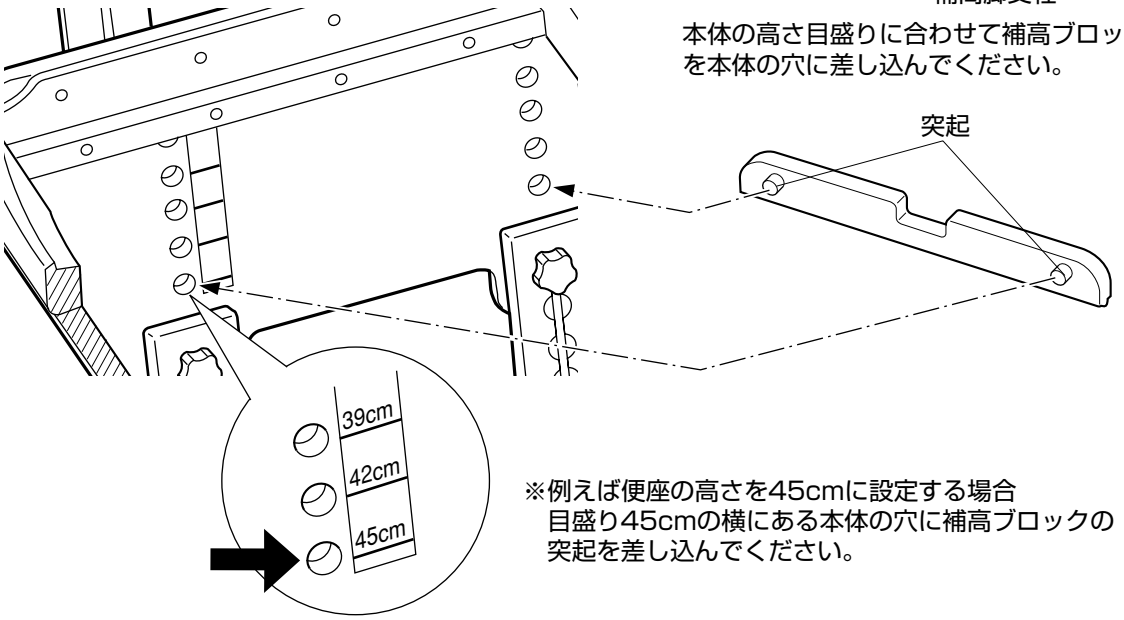


③補高ブロックを本体から外し、変更する高さへ補高ブロックをはめ込んでください。





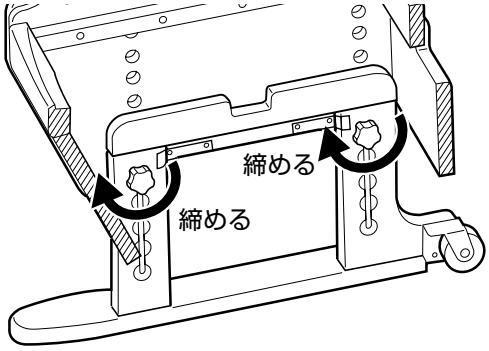
本体の高さ目盛りに合わせて補高ブロックの突起
を本体の穴に差し込んでください。

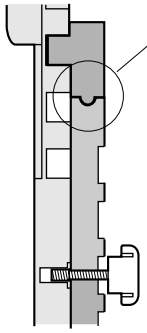


※例えば便座の高さを45cmに設定する場合
目盛り45cmの横にある本体の穴に補高ブロックの
突起を差し込んでください。

2 便座（座面）の高さを調節する（つづき）

④補高ブロックと補高脚支柱を嵌合させて、ノブボルトを補高脚支柱の嵌合溝（丸溝）に挿入させて締め込んでください。



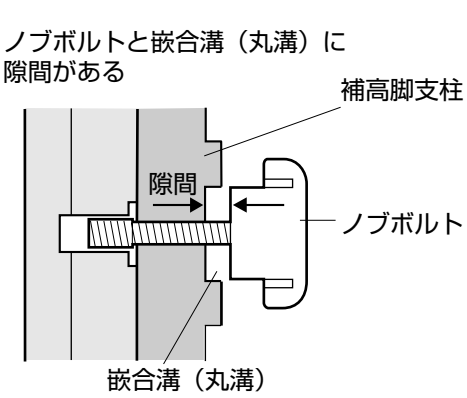


⚠注意

●補高脚の固定は確実に行なうこと
補高脚が外れ、けがの原因になります。

●補高脚支柱側のノブボルトを固定するときは必ず嵌合溝（丸溝）の奥までノブボルトを挿入してしっかり締め付けること
本体が下がり、転倒やけがの原因になります。

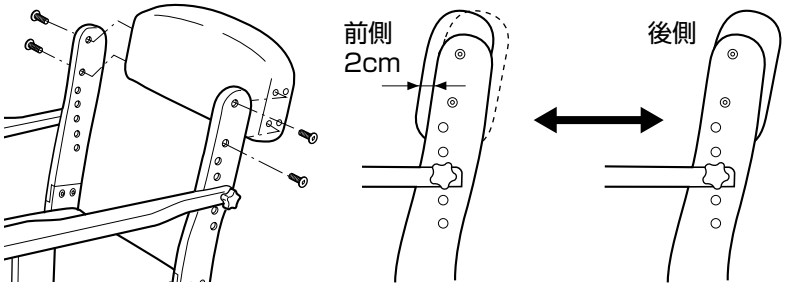
●補高ブロックは必ず取り付けること
本体が下がり、転倒やけがの原因になります。



⑤最後に受け板を本体にセットしてください。

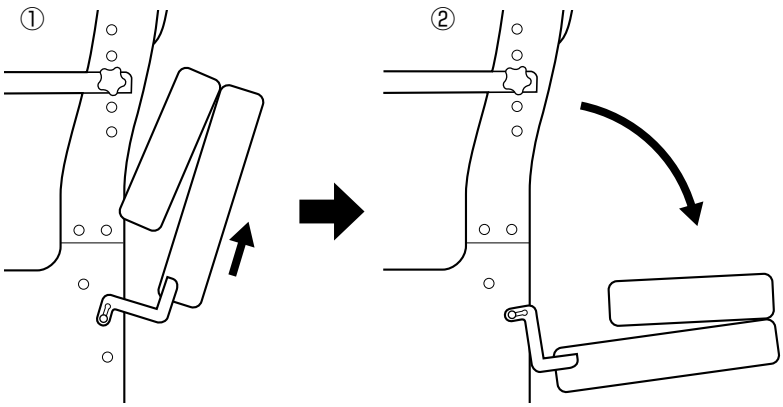
3 背もたれの位置を調節する

必要に応じて背もたれの位置を前後に2cmずらすことができます。
背もたれクッションの穴位置を選んでボルトで確実に固定してください。
箱から取り出した状態は前側に付いています。



4 座面をトイレの後ろ側に倒して使用する（後方介助）

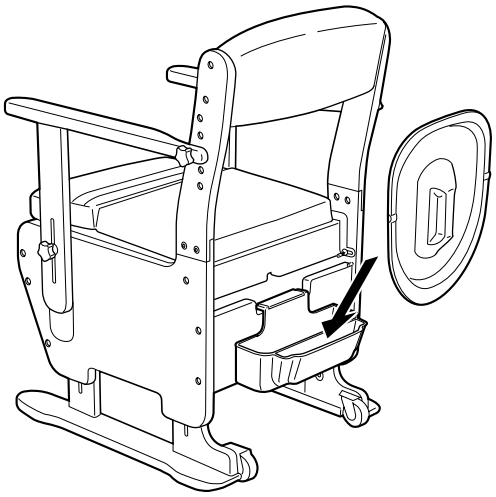
①座面を開けた状態から座面後部を持ち上げてください。座面のロックが解除されます。
②そのままトイレの後ろ側へ座面を倒せば、後方からの介助を行うことができます。



使いかた

5 ポケットにバケツの蓋を収納する

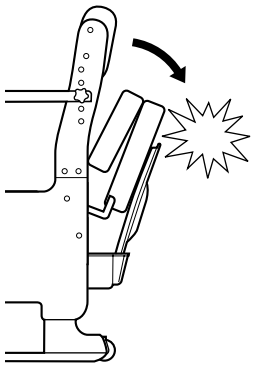
バケツの蓋を上面が手前に向いた状態で、蓋の先端を下にしてポケット外側の収納場所に差してください。ポケットをトイレの側面に取り付けた状態でも同様におこなってください。



⚠注意

●トイレの後ろ側にポケットを付けた場合で、バケツの蓋を収納した状態、またはポケットの上面よりも高い物を入れた状態で座面を後ろ側に倒さないこと

座面とバケツの蓋や収納物が接触して破損する恐れがあります。



6 快適な使いかた

本製品には、防臭消耗品が入っております。ご活用いただき、快適にお使いください。

①防臭消耗品の使いかた
バケツに約2Lの水（バケツ内側の2と表示のある線まで）を入れ、付属の防臭消耗品を入れてください。ポータブルトイレ用防臭剤、消臭剤フォームタイプ、消臭シートもご使用いただけます。（別売品）
快適脱臭の場合は、付属の消臭剤フォームタイプを併用することにより、自動停止後も長時間脱臭効果が持続します。

⚠注意

当社指定の防臭消耗品以外は使用しないこと
脱臭器の吸着材は、臭いの成分を吸着するため、香料を含む薬剤を使用すると、吸着材の寿命が短くなる恐れがあります。

②便器に座る前に用便されてしまう場合もあります。あらかじめポータブルトイレ用消臭・防水シート（別売）を敷いておくと、より快適にお使いいただけます。

③折れ座面を開け、便座を上げて、バケツの蓋を外してご使用ください。
※バケツ内へは、テッシュペーパーなど、トイレットペーパー以外のものは入れないこと。トイレで処理する際、詰まる原因になります。

④使用後はポータブルトイレ本体からバケツを取りだして、
汚物をトイレに流してください。

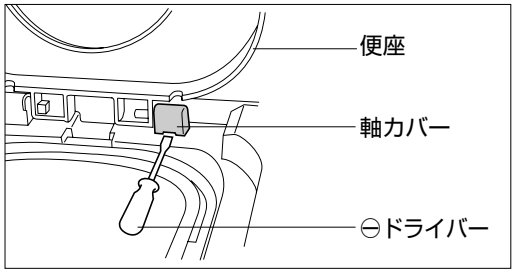
使いかた

便座の分解・組立て方法

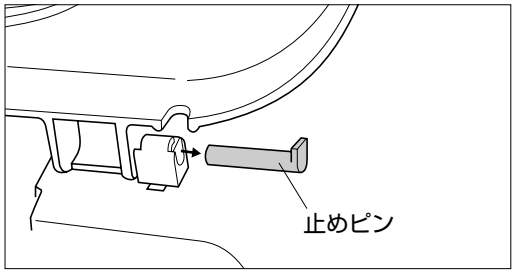
●お手入れや便座の取りかえを行う時

1 折れ座面を開け、便座を上げる

2 軸カバーの溝に⊖ドライバー等を入れ、上に引き上げる

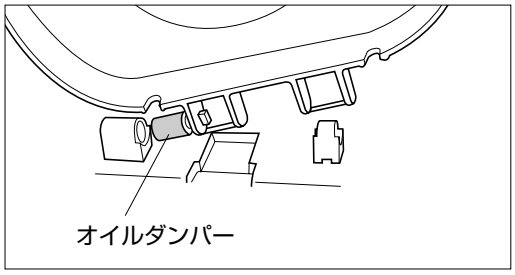


3 止めピンをぬき、便座を軸受けから外す



4 最後に受け板の軸穴からオイルダンパーをぬき、便座を分解する

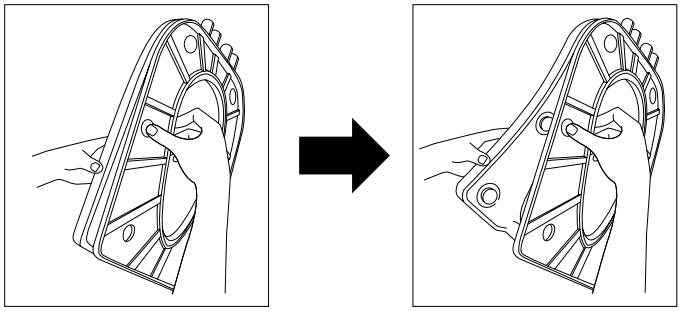
（オイルダンパーが軸受に残った時は、4の作業はいりません）
※組立てる場合は、4から逆の手順で行ってください。



ソフト便座は便座ベース板から分解できます

裏面の凸部を押して分解してください。

⚠ 注意
ソフト便座と便座ベース板を分解する際、無理にひっぱらないこと
強く引っぱると、ソフト便座が破損します。



お手入れの方法

1 普段のお手入れは

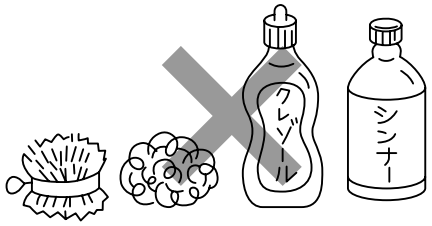
いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

2 少しひどい汚れには

便座・受け板は、本体から取り外すことができます。汚れがひどくなった時は、便座の分解・組み立ての方法の手順に従い取り外してください。

注意

※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール、殺虫剤等は絶対に使用しないこと
木部の塗装がはがれたり、プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



注意

暖房便座仕様の場合
※便座・スイッチボックスには水をかけないこと
感電やショートの原因になります。

快適脱臭

3 脱臭器のお手入れ

①ACアダプターを取り外し、折れ座面を開けて、センサーを受け板から外します。次に受け板をポータブルトイレ本体から外してください。

②脱臭器をポータブルトイレ本体から引き上げ取り外してください。

③ダクトは、汚れやほこりが溜りやすいので、時々ブラシ等で、ほこりを取り除いてください。また、落ちにくい汚れは、水で洗い流してください。

④接続ダクトと脱臭器の間にあるプレフィルターは、ほこりがたまりやすいので、月に１度は取り外して、やわらかいブラシ等でほこりを取り除いてください。

⑤脱臭器の取り付けは、9～10ページ「脱臭器を取り付ける」の項目を参照してください。

注意

※お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜くこと
感電やショートして火災の原因になります。
※脱臭器は水洗いしないこと
脱臭器の内部に水が入ると故障の原因になります。
※センサーコードを引張ったり、折り曲げたりしないこと
断線して故障の原因になります。

故障かな？と思ったら

修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べ下さい。

快適脱臭

こんなとき	調べるところ・原因	処　置
においが取れない	プレフィルターにほこりがつまっていませんか	プレフィルターの掃除をする→P9
	受け板の吸引口、脱臭器排気口をふさいでいる物はありませんか	ふさいでいるものを取り除く
	接続ダクト・脱臭器がしっかり接続されていますか	正しく接続する→P9・10
センサーに手をかざしても作動しない	センサーが汚れていませんか	センサーを掃除する
	ACアダプターはしっかり差し込まれていますか	ACアダプターを差し込みなおす→P10
人がいないのに作動し続ける	座面は開いていませんか	座面を閉じる

暖房便座

こんなとき	調べるところ
電源スイッチを押してもランプが点灯しない	電源プラグが確実に差し込まれていますか？
便座があたたかくない	電源が 「切」 になっていませんか？
	設定温度が低くなっていませんか？
便座があつい	設定温度が高くなっていませんか？
電源ランプが点滅し、便座面があたたかくない	自動回路遮断が働きました。お買い上げの販売店にご相談ください。